

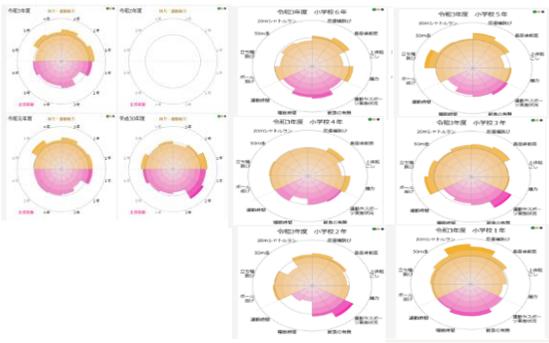
健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	① 自己の健康・保持・増進のために、主体的に課題解決できる子どもの育成を目指し、体育科を中心とした健康に関する教科等の授業改善を図る。② 新体力テストの結果や学校保健委員会の取組等を保護者と共有するなど、家庭と連携した体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当 体育部	

健やかな体に関わる本校の状況

学校全体としての経年変化では、令和元年度と比べて(令和2年度は未実施)、大きな変化はなく、多くの学年が、横浜市の平均値ラインを越える運動・体力を有していることを示している。日々の体育学習の中での積み重ねや、めあて学習の充実によって、個々の学習を保障し高めてきたことが要因の一つに考えられる。また、地域的に社会体育への参加率も比較的高く、運動に対する家庭での取り組みが反映している点も考えられる。「週に1~2回程度の学校体育以外での運動」の取り組みでは、全ての学年で80%近くの児童が取り組んでいる結果であり、日頃から運動を通して体力づくりをする風土が見られる。

体力テストで実施された種目別に見てみると、「上体起こし」の項目が各学年低く表れており、筋力の低さが考えられる。一方で、「長座体前屈」の項目では、全学年で平均値以上の値が見られており、柔軟性の高さが見られる。学校全体としては、「体づくり運動」を中心に、必要な筋力・体力の向上を目指して活動を充実させていきたい。



今年度の目標

- ① 自己の健康保持・増進のために、主体的に課題解決できる子供を育成する。
- ② 保護者と情報を共有し、家庭と連携した体力の向上。生活習慣の改善を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・運動委員会の活動を中心に、児童一人一人が、主体的に体力保持、増進を目指した取り組みを行っていけるようにする。季節ごとに、なわとび大会、マラソン週間、スポーツフェスを実施計画することで、体力向上に取り組んでいく。 ・心の体温を知り、変化があることを体感することで、整えるきっかけがわかるのではないかと予想する。自分の状態がわかることは、心身のバランスをとりやすくなることにつながり、毎日いろいろあっても折り合いをつけたり切り替えたりしやすくなる。心と体の相互関係を体感していくことが第一ステップとなればと考え、テーマを「心の体温を知り、体と心つながりをもっ確かめよう!!」と設定し、学校保健委員会を通して取り組みを実践していく。
下半期	